

【参考 4】 堺市基本計画 2025 のもと進めてきた主な仕組みと取組（例）

■ 主な仕組み（例）

庁内：庁内の組織体制の仕組み / 庁外：市と企業、団体等の連携を推進する仕組み

区分	仕組み	概要
庁内	重要施策、喫緊の課題に対応する組織体制	重要施策や喫緊の課題に対応する組織を新設 <新設組織の例> ・地域共生推進課（包括的支援体制、生活困窮者支援の強化） ・子どもの未来応援室（こどもの貧困、貧困の連鎖解消の取組強化） ・いじめ不登校対策支援室（いじめ不登校のこども等への支援強化） ・学校改革推進室（学校群を一体的に運営する体制構築） ・脱炭素先行地域推進室（脱炭素先行地域のプロジェクト等の推進）
庁内	重要施策を推進する部局横断型チーム	重要施策を関係部局が連携し推進するチームを新設 <新設チーム> 女性活躍推進チーム、子どもの未来応援チーム、伝統産業ブランド化推進チーム、サイクルシティ推進チーム
庁外	市長と自治会の意見交換	市長が各区を訪問し、自治連合会と年 2 回程度、定期的に地域の課題等についての意見交換を実施（2021～2024 年度まで延べ 49 回実施）
庁外	さかいSDGs推進プラットフォーム	企業、教育機関など幅広い主体が参画し、SDGs を推進するプラットフォーム。現在、約 2000 の企業等が参画し、会員同士がつながりながら様々な課題解決に向けた取組を推進
庁外	SENBOKU スマートシティコンソーシアム	泉北ニュータウン地域において ICT 等の技術を活用した地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上を図るコンソーシアム。160 を超える企業等が参画し、モビリティやヘルスケアなど公民連携の実証プロジェクト等を推進
庁外	堺市と企業等との連携協定	災害対策、観光振興、健康増進、環境政策、DX など多岐にわたる分野において企業等との協定を締結。相互に連携し、強みを活かしながら取組を推進

■ 主な取組（例）

重点戦略	主な取組
1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	古墳群の歴史的意義や価値の発信 百舌鳥古墳群ビジターセンターや古代展示エリアをリニューアルした堺市博物館等において古墳群の歴史的意義や価値を発信
	古墳サミットの開催 「関西古墳サミット」「全国古墳サミット」「G7 大阪・堺貿易大臣会合開催記念古墳サミット」を開催
	鉄炮鍛冶屋敷の開館 貴重な文化財を後世に継承し、古墳時代から受け継がれてきた堺のものづくりの歴史を見て、触れて、感じられる施設として鉄炮鍛冶屋敷を開館

重点戦略	主な取組
1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	堺アーツカウンシル等を活用した文化芸術振興 堺アーツカウンシルにおいて、専門人材を中心に文化芸術活動を行う個人、団体に対して相談支援等を実施
	G7 大阪堺貿易大臣会合の誘致・開催 堺市で実施される初の閣僚級の国際会議である「G7 大阪・堺貿易大臣会合」を誘致、開催
	2025 年大阪・関西万博を契機としたこどもたちの国際感覚の醸成等 万博が大阪で開催される貴重な機会を捉え、こどもたちの国際感覚の醸成及び未来に向けた行動につながる取組を推進
	堺伝匠館へのリニューアル 堺伝統産業会館を「堺伝匠館」として大幅リニューアル。管理運営を民間委託し、機能強化。2024 年度の売上は過去最高を記録
	「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランドの立ち上げ 堺の伝統産品や伝統産品を引き立てる逸品の魅力を消費者やメディアに伝える「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランドを立ち上げ、首都圏等で PR・販売を実施
	サイクルシティとしての魅力創出 堺独自の歴史を活かした「サイクルシティ堺」を推進。シェアサイクル導入、サイクルポート拡充、広域自転車ルート整備など自転車の利用・通行環境を充実
2.人生 100 年時代の 健康・福祉 ～Well-being～	アプリを活用した生活習慣の改善 おおさか健活マイレージアプリ「アスマイル」に本市独自のポイントを 60 歳以上対象に付与し、アプリの活用による市民の生活習慣の改善を促進
	がん検診の無償化 前立腺がん検査・胃がんリスク検査を追加したがん検診無償化を継続実施
	AI 分析、ナッジ理論を活用した健診の受診促進 過去の受診履歴の AI 分析に基づく個人の行動特性や行動経済学「ナッジ理論」を取り入れた健診の受診勧奨を実施
	複雑化・複合化した課題への対応強化 相談支援等を一体的に実施する重層的支援体制整備事業を実施。多職種向けの研修等を実施し、複雑化・複合化する課題へのスキルアップと支援ネットワークを強化
	再犯防止及び更生支援 大阪保護観察所等と連携協定を締結し、矯正施設出所前後に支援が必要な方への生活、就労等の支援や保護司等が安全安心に活動できる環境整備を推進
	地域包括支援センターの体制強化 高齢者が必要なサービスを受けられるよう専門スタッフによる総合相談業務を実施する地域包括支援センターの体制を強化
	PFS を活用した介護予防プログラムの提供 無関心層も含め、効果的に行動変容を促すため、成果連動型民間委託契約方式（PFS）を活用し、趣味活動等を入口とした多彩な介護予防プログラムを提供

重点戦略	主な取組
2.人生 100 年時代の健康・福祉 ～Well-being～	<p>障害者の就労支援 就労先への助言を含む障害者の就労全般の支援のほか、就労希望者がいる福祉施設と職場体験実習先を繋ぎ一般就労を促進するマッチング支援を実施</p> <p>生活保護ケースワーカーの配置改善 市の正職員のケースワーカー配置数を改善（2020 年度 146 名 → 2024 年度 180 名）</p>
3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	<p>保育所等の待機児童ゼロの実現 新規施設の設置や既存施設の増築等により受入枠を確保することで保育所等の待機児童ゼロを実現</p> <p>第 2 子以降の保育料無償化 認定こども園・保育所・地域型保育事業等を利用する 0～2 歳児のうち、第 2 子以降の子ども保育料を所得制限なしで市独自に無償化</p> <p>総合的な学力の向上 学力を同一尺度で測定可能な IRT 調査を小学校 4 年生から中学校 2 年生までに拡充するなど、効果的な取組を検証し全校で展開</p> <p>オンライン英会話の推進 実践的な英会話を通じて国際理解を深め、主体的にコミュニケーションを図る態度を養うため、海外の英会話講師とのオンライン英会話を全中学校 2 年生に拡充し実施</p> <p>企業と連携した教育活動等の活性化 企業、NPO、団体、大学等と連携・協働し、講師派遣や施設見学などの地域貢献活動のプログラムを学校園等に提供。教育活動や地域活動の活性化を支援</p> <p>全員喫食制の中学校給食の実現、学校給食費無償化の段階的实施 全員喫食制の中学校給食を 2025 年 6 月から開始。小学校給食費の無償化を 2025 年度から段階的に実施し、2027 年度から全学年を無償化</p> <p>いじめ・不登校対策の強化 「いじめ不登校対策支援室」を市長部局に設置し、社会福祉士等による相談体制を強化するほか、教員への研修、弁護士等の専門家派遣など総合的な対策を実施</p> <p>ひとり親家庭への支援 就業相談から適職診断、求人マッチング、定着支援を一貫して受けられる仕組みの構築、資格取得のための講習会、FP による家計相談など多岐にわたる取組を実施</p> <p>子ども食堂への支援 子ども食堂を実施する団体等をつなぐネットワークを形成し、食材・ボランティア等のマッチング、食品衛生や子どもとの関わり方等に関する研修会、フードドライブなどを実施</p>
4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	<p>行政のデジタル化 電子申請システムの活用、施設予約システムの再構築、役所窓口等のキャッシュレス化、マイナンバーカードの普及促進、申請書等への押印の廃止などを推進</p>

重点戦略	主な取組
<p>4.人や企業を惹きつける 都市魅力 ～Attractive～</p>	<p>スマートシティの推進 重点地域の泉北ニュータウン地域において、SENBOKU スマートシティコンソーシアムを活用し、ヘルスケアやモビリティなど ICT を活用した様々な実証プロジェクトを実施</p>
	<p>広報・情報発信の強化 広報さかいをフルカラーで読みやすい紙面へと大幅改善、堺市ホームページのリニューアル、公式インスタグラムの開設、全区長の X アカウント開設など取組を強化</p>
	<p>新たな交通システムの導入 東西交通の改善を図る SMI（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクトについて、都心ライン・美原ラインの実証実験、次世代モビリティを活用した都心部の回遊性向上実験等を実施</p>
	<p>中百舌鳥エリアを核としたイノベーションの創出 大阪公立大学等との産学官連携の促進、スタートアップの成長段階に応じた支援、イノベーション交流拠点「cha-shitsu」の企画運営など多岐にわたる取組を実施</p>
	<p>戦略的な企業投資の促進 成長産業分野や研究開発機能等に関する投資への市税軽減措置等により企業の競争力強化や付加価値の向上、雇用創出を推進</p>
	<p>中小企業の経営基盤の強化 中小企業の製品・技術の高付加価値化や新分野への進出、デジタル化や DX 推進へのサポートなど多面的な支援を実施</p>
	<p>女性活躍の推進 市が率先して女性を管理職に積極登用するほか、ライフステージに応じた女性の就労支援や潜在求職者の掘り起こし、企業における労働環境の整備等を実施</p>
<p>5.強くなやかな 都市基盤 ～Resilient～</p>	<p>地域防災力の向上 区別・対象者別の防災マップの作成、自主防災組織の防災訓練の支援、防災士の養成、防災資材の整備など、各区の実情に応じた地域防災力を高める取組を実施</p>
	<p>被災地への支援 令和 6 年能登半島地震の被災地に対する職員派遣のほか、支援物資の提供や義援金の受付、市内避難者への生活支援等を実施</p>
	<p>都市インフラの強靱化 緊急交通路等における橋りょうや水道管路の優先耐震化路線、配水場等の耐震化、下水ポンプ場の建設、避難地となる公園の整備等を推進</p>
	<p>空家対策の推進 空き家化の予防や適正管理の啓発、不動産団体と連携した利活用支援、空き家を購入し市外からの転入する子育て世帯等への購入費用の補助などを実施</p>
	<p>安全な道路ネットワークの整備 都市計画道路の整備や南海本線・南海高野線の連続立体交差事業を推進。道路等の不具合を手軽に連絡できる LINE 道路等通報システムを運用</p>
	<p>新技術等の民間活用 AI を活用したマンホールポンプクラウド監視システムの導入、一部エリアにおける IoT 技術を活用した漏水の常時監視など民間の新技術を積極的に活用</p>

重点戦略	主な取組
5.強くしなやかな 都市基盤 ～Resilient～	脱炭素先行地域の推進 「堺エネルギー地産地消プロジェクト」が国の脱炭素先行地域に府内自治体で初めて選定。泉北ニュータウンにおけるゼロエネルギータウンの創出、既設庁舎では全国最大となる本庁舎の ZEB 化、公共施設への再生可能エネルギーの導入などを推進
	ごみの4Rの推進 市民・事業者・市がそれぞれの役割を果たすことで、市全体でごみ減量に集中的に取り組むプロジェクト「堺・ごみ減量 4R 大作戦」を実施。目標値を前倒して達成
	防犯環境の整備 警察等と連携した緊急性、優先度の高い場所への防犯カメラ、防犯灯の戦略的な設置、地域が主体的に行う青色防犯パトロール活動への支援などを実施